

会 議 録

会 議 名	令和元年度（2019年度）第2回八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会計画策定（子ども）部会	
日 時	令和元年（2019年）6月11日（火）午後1時30分～3時00分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 第6委員会室	
出席者氏名	委 員	井上仁部会長、野中真理子委員、森直美委員、山本由佳理委員 （会長、副会長、以下五十音順）
	関連所管	
	事務局	澤田子どものしあわせ課長、中山若者政策担当課長、小野主査
欠席者氏名	大宝院清孝副部会長、荒井容子委員、岡崎理香委員、	
議 題	議事 1 次期計画の基本理念・基本方針・重点項目について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	別紙のとおり	
会議の内容	別紙のとおり	
会議録署名人	令和元年（2019年）7月2日 山本 由佳理	

(別紙) 配付資料

- 子ども・若者育成支援計画 掲載案
- 子どもたちからの主な意見

(別紙) 会議の内容

【澤田子どものしあわせ課長】

定刻になりましたので、八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会令和元年度第 2 回計画策定(子ども)部会を開催いたします。委員 7 名中 4 名出席で過半数となりますので、開催要件を満たしております。では井上部会長に進行をお願いします。

【井上部会長】

では最初に、資料 1「子ども・若者育成支援計画 掲載案」について事務局から説明をしてください。

【事務局】

(資料 1 子ども・若者育成支援計画 掲載案について説明)

【井上部会長】

計画に盛り込む点などについて、事務局から提案がありました。

次期計画の基本理念については、すでに答申として出しておりますとおり、現計画の特徴である「子どもにやさしいまちづくり」を引き継ぎ、SDGs の考え方を入れた持続する社会づくりを目指すこととしています。

私から、基本方針案を三つ挙げます。1 つ目が「ミライがみえるまち」、内容は「次世代を担う子ども・若者の育成」と「子ども・若者の参画のしくみづくり」です。2 つ目が「やさしいまち」、内容は「子ども・若者の育ちを支えるしくみづくり」と「家庭の子育て力を支えるしくみづくり」です。3 つ目が「安心できるまち」、内容は「子ども・若者の権利擁護のしくみづくり」と、「配慮の必要な子ども・若者と家庭を支える環境づくり」です。先ほどの市の内容とほぼ同じですが、「子ども・若者の参画のしくみづくり」と「権利擁護のしくみづくり」も、基本方針として追加することを提案しています。

現計画では 17 の基本施策と 51 の施策があり、今回はこれを補強するイメージで考えています。その考え方については、SDGs を活かし、八王子に必要な施策を立てていく必要があると思います。例えば 1 番は、貧困対策からひとり親世帯の支援、災害や環境から子ども・若者を守る対策へと施策展開していきます。16 番の権利擁護に関しては、いじめの問題や都の条例化も踏まえ、八王子がどう向き合うかを示すべく、計画に盛り込まないといけません。いじめが起きてから立ち上がる第三者機関ではなく、日頃から相談できる場があると良いと思います。また、八王子の保育、学童、子育てひろば等、質を保つために八王子はどのような基準を設けるか、若者も対象とする計画で健全育成をどのように考えるか、しっかり検討して新たに組み込むべき施策も多いです。

【事務局】

オリンピック、パラリンピックは、レガシーを活かすという意図でキーワードとして挙げています。

【井上部会長】

八王子市としては、オリパラは、スポーツ振興だけでしたら子ども・子育て支援、若者

支援とはなりません。レガシーとして活かせるよう、現時点で何か打ち出していることがあれば提案してもらい、内容を見て協議をしたいと思います。子どもミライフフォーラムのほうでレガシーにすべき内容です。

若者支援が計画に入ってきますが、庁内に担当部署はできるのですか。

【事務局】

組織ありきではなく、順番としてはまずはやるべきことを考え、計画を策定します。それに対してどうすべきか検討した結果、組織が変わるかもしれませんが未定です。

【井上部会長】

中核市としての相談支援体制をどうするかも課題です。中核市の児童相談所設置はまだ義務化はされていませんが、人材・財政面でも準備に時間を要しますので、準備をするかどうか検討が必要です。また、上位計画の地域福祉計画は中学校区になっていますが、子ども家庭支援センターは5地区ですので、この整理をしないと市民にとっては分かりにくいです。児童館は、空白地域がある中で居場所の機能、若者の相談支援、ありかたを考える必要があります。ひとり親家庭と生活保護世帯の支援は、ボーダーレスで対応してほしいと思います。

また、子どもの参画については、教育委員会と連携したしくみづくりを強く要望します。

以上が私の意見ですが、皆さんにも御意見をいただき協議をしていきます。最後に一点追加ですが、プロモーション強化も必要だと思っていて、現状では、ネウボラやマイファイル、ベビーカーレンタル事業など、八王子独自で良い事業を行っていても知れ渡っていません。インスタグラムや市民参加型の SNS などプロモーションの検討が必要です。例えば、赤ちゃんふれあい事業はPRのみであり、実際に開催された時の様子が分かりません。基本方針に「広報」を入れても良いくらいです。

【山本委員】

ベビーカーレンタルについては、使い道が分かりません。モニターを募集してママたち向けに発信し、さらに定期的にPRすることが必要だと感じます。

【事務局】

プロモーションは、子ども家庭部だけではなく市全体の課題ですね。

【野中委員】

市の広報ですと、特集やママへのインタビューなど効果があると思います。

【井上部会長】

市職員が発信すると硬いので、審議会委員が広報に協力しても良いかもしれないですね。中核市・八王子として取組をPRし、「八王子いいな」と思ってもらえるようにしたいです。明石市のように、人口増加につながったという事例もありますので、少子化対策も含めたプロモーション施策を検討しないといけないと思います。

【事務局】

そうですね。少子化対策は大きな課題ですので、子ども・子育ての分野に限定されない御提案をお願いいたします。

【井上部会長】

道路、公園、図書館整備など、あらゆる事業に子どもの視点を入れるよう、他自治体の取組も参考にしてください。次期計画の特徴として、庁内改革を盛り込み、さまざまな所管の職員が、子どもの視点や少子化対策の意識を持つ必要があります。

【事務局】

今回資料としてまとめるため、10年ほど前からの子どもの意見発表会における子どもたちの意見を確認したところ、アスレチック、公園遊具、通学路を明るくしてほしいなど、ニーズが変わっていませんでした。

【井上部会長】

市に、子どもの声を反映するしくみがないからでしょう。子どもの意見を単に〇〇公園の話として聞くのではなく、考え方として受け止め、少子化対策として全庁的に考えていく必要があります。

【事務局】

明石市や流山市では、そのように取り組んでいるようです。

【野中委員】

富士森公園は緑化フェア後、どのような公園へと展開されるか期待し、市民が声を上げましたが反映されず残念でした。

【事務局】

富士森公園にはもともと競技場があり、それを改修するタイミングと緑化フェアが重なりましたが、競技場の改修は当初の計画どおりに行っているようです。

【井上部会長】

そのような時こそ戦略的に考え、一所管の事業とせずに市全体として捉えられると良いと思います。市民センターにしても、子どもが使用したいときに団体登録が必要というのは馴染みません。管理、運営の都合もあると思いますが、少子社会の中で、例えば、子どもに開放する時間や場所を設けるなど、共存・共生社会をつくるための工夫が欲しいです。

【事務局】

計画には記載されているのですが、子どもだったら、という視点が必要ですね。

【中山若者政策担当課長】

公園については、現在、「みどりの基本計画」の改訂作業をしていますが、公園が少子化対策、子育て世代の誘致策になるという考えのもと、みどりの主要な機能として、子育て・教育を加える予定です。市制100周年を機に整備した富士森公園の「こども広場」が、今なお、平日も多くの親子連れで賑わい、一つのコミュニティの核になっているという実績があります。市制100周年事業として開催したビジョンフォーラムやミライフフォーラムの子どもたちの提言を受け、今年度は富士見台公園を地域コミュニティの拠点として整備し、子どもの遊び場の名称や使い方などを、近隣の小学校の子どもたちに参画してもらい決めていきます。公園も少しずつ変わってきています。

【井上部会長】

子どもの視点に立った考え方が大切ですよ。子どもたちの希望はイベント的なものではなく、誰もが自由に行ける公園や開放された公共施設です。子どもたちはプレイパークを欲しいと言っていて、これは自分たちの発想や責任で子どもが育つ場です。これはまだ常設されていませんので、言い続けていく必要があります。浅川も、きれいになって良かったと大人は言いますが、子どもは入ってはいけないと言われているので行くことができません。夕やけ小やけふれあいの里には、「ホタルの夕べ」があったり、八王子の自然を学べる場所を提供していることは良い取組ですが、有料ですし遠いので、子どもが気軽に行くことはできません。

【野中委員】

地域の公園で子どもが遊んでいて安全か、という保護者の声もあります。安心して遊べる公園のためには、整備だけではなく、コミュニティが必要だと思います。あわせて、八王子の売りになる、市外からも来なくなる公園があると良いです。

【井上部会長】

飯能市は、今、有料エリアであるムーミンバレーパークが目立っていますが、もともと誰でも使える無料のエリアがあり、その中にはプレイパークや森の保育園があって活用されています。単なる公園として考えるのではなく、有機的に使えるような工夫が求められていると思います。

ほかの事業でも、八王子は良い取組を多くやっていますが、しくみ化されていないために途切れてしまうこともあり、もったいないです。そのような視点でも検討し、すべてが2020年度からスタートしなくても構いませんので、計画に盛り込んでいきましょう。各課が事業をどう考えているか、効果的に実施できているか、改善すべき点は何か、少子化対策との関連などを聞いて、論議したいと考えています。

先ほども話がありました圏域については、要対協は中学校区ごとに行われていますが、ケースは進行管理が重要です。今の子ども家庭支援センターの5地区での体制では、それが厳しいのではないのでしょうか。中学校区に沿った体制整備が必要です。待機児童対策も同様ですが、八王子は広く地域ごとに特性が違うからこそ圏域は大切で、ミクロで考えてから全体を考える、という積み重ねが必要であると思います。

また次期計画は、基本的には前計画の見直しで良いのですが、5年前には人口減少は始まっていなかったもので、少子化対策として何をやるか、どのように効果を発揮させるかは、次期計画の一番の目玉となります。今、出生率はどの程度ですか。

【事務局】

合計特殊出生率は1.19で、全国平均より低いです。生れてくる子どもの数は、毎年数百という数で減少しています。

【井上部会長】

八王子が選ばれ、八王子で生み育てたいと思われるようにしないとイケませんね。

【野中委員】

子どもの生活実態調査の結果では生活困難層の割合も多く、育てづらさから2人目、3人

目の子どもをあきらめている方もいるかもしれません。

【井上部会長】

また、今後は若い外国人への対応も考えなければいけませんね。言語の問題など、保育園などでも対策が必要です。

【野中委員】

外国籍の子どもが抱える課題は、民生児童委員の中でも挙がっています。学校の勉強が難しい場合、塾に行きたくても、塾でも対応できない状況があります。

【井上部会長】

さまざまな課題が出て、市の対応も必要ですが、市民の力を活用するしくみも検討すべきですね。

では、作業部会の日程調整を行います。みなさんの予定を調整し、6月18日（火）、26日（水）、7月3日（水）、10日（水）、17日（水）、24日（水）18時から20時とします。会場は事務局で調整後に連絡します。

部会を通して、今回の計画の柱、子育てで八王子らしさをどう打ち出すかを検討していきます。では本日はこれで終了します。お疲れさまでした。